

2013 年 7 月 8 日

**2013 年国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA)
サンフランシスコ大会 (第 26 回大会)
参加登録受付開始のお知らせ**

国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA) の本年 2013 年の大会 (第 26 回大会) は、
10 月 8 日 (火) から 12 日 (土) までの 5 日間、サンフランシスコで開催されます。
(メイン・セッションは 10 月 9 日 (水) から 11 日 (金) までの 3 日ですが、10 月 8 日 (火) の
プレ・セッション、12 日 (土) のポスト・セッションも大会の一部です。)
<http://conference.ifta.org/2013/>

《 早期登録割引 》

大会参加料は 7 月 31 日までに登録すると早期割引料金が適用されます。それを過ぎると料金が上がりますので、参加される方は早めに登録することをお奨めします。

大会参加料金 (IFTA 会員料金 ※1) は以下の通りです。

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| ・7 月 31 日までに登録 | 995 米ドル (約 9 万 9,500 円) ※2 |
| ・8 月 1 日～9 月 9 日に登録 | 1,350 米ドル (約 13 万 5,000 円) ※2 |
| ・9 月 10 日以降に登録 | 1,650 米ドル (約 16 万 5,000 円) ※2 |

<http://conference.ifta.org/2013/registration-fees/>

《 日本語同時通訳 》

ホストであるサンフランシスコ・テクニカルアナリスト協会によると、有料ですが、日本語同時通訳サービスが提供される予定です。料金は以下の通りです。

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| ・7 月 31 日までに登録 | 375 米ドル (約 3 万 7,500 円) ※2 |
| ・8 月 1 日～9 月 9 日に登録 | 425 米ドル (約 4 万 2,500 円) ※2 |
| ・9 月 10 日以降に登録 | 475 米ドル (約 4 万 7,500 円) ※2 |

但し、同協会によると、8 月 31 日までに 15 人以上の日本語同時通訳サービスの利用登録がない場合は、同サービスの提供は取りやめになる可能性がありますので、その点は留意して下さい。

《大会参加登録サイト》

大会参加登録は以下のサイトで行えます。参加される方は各自で行ってください。

https://www.ifta.org/register/annual_conf26.php

* 尚、参加を申し込まれた方はNTAA事務局にもメールでご連絡ください。

office@ntaa.or.jp

《今年の IFTA 大会の特徴》

1) テクニカル分析の世界最先進国である米国で開催され、高水準

IFTA 大会では例年、世界各国のスピーカーが講演を行い、各国のテクニカルアナリスト協会から多くの会員が参加します。このため、大会への出席は、世界レベルのテクニカル分析の研鑽を積むと同時に、世界各国からの参加者との交流をするいい機会になります。テクニカル分析の世界最先進国である米国での開催となりますので、高水準となると思われます。

2) 日本ではなかなか聴講できない著名スピーカーの講演を聴く機会

大会では 30 人を超すスピーカーが講演を行います。日本では聴講できる機会がなかなかない、多くの世界的著名スピーカーのプレゼンテーションを聴く事ができます。

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/>

例えば、講演者には以下の著名スピーカーも含まれます。

デイビッド・ケラー David Keller 氏

(フィデリティ・インベストメンツ、マネジング・ディレクター(調査担当))

フィデリティと言えば世界最大の投信運用会社で、ボトムアップのファンダメンタル分析を重視する運用会社というイメージがありますが、実は強力な専任のテクニカル・アナリスト・チームを擁し、ファンダメンタル分析だけでなく、テクニカル分析も駆使して運用にあたっています。同社がどのようにテクニカル分析も組み込んで、優れた運用を実現しているかが示されます。ケラー氏はまた、MTA (Market Technicians Association; 米国テクニカルアナリスト協会) (会員数: 約 4500 人) の会長を務めています。

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/170/>

<http://www.mta.org/eweb/dynamicpage.aspx?webcode=board-of-directors>

他にも多数の著名アナリストが参加予定です。

詳しくは《参考資料》をご確認下さい。

3) 日本を代表するテクニカル・クオンツ研究者の国際舞台における発表を見る機会

今年の大会では、テクニカル・クオンツの分野で活躍中の、以下のお2人のNTAA会員にもスピーカーになって頂いています。

① 鈴木 智也 先生 (茨城大学 工学部 知能システム工学科 准教授)

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/tomoya-suzuki-ph-d/>

<http://tsuzuki.ise.ibaraki.ac.jp/>

② 尹 熙元 (ゆん ひうおん) さん (CMD ラボ 代表取締役)

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/846/>

4) 観光名所

ご存じの通り、サンフランシスコは米国を代表する観光の名所です。ホストのサンフランシスコ・テクニカルアナリスト協会によると、同協会は、大会参加者が期間中、サンフランシスコの滞在を楽しめるように、魅力的な観光プログラムを各種用意しており、滞在を「フルに満喫してもらえらるだろう」と自信を持っているようです。

※1: 日本テクニカルアナリスト協会 (NTAA) 会員には IFTA 会員料金が適用されます。

※2: 1ドル=100円で計算。

《参考資料》

サンフランシスコ大会参加予定の著名アナリスト

- ① デイビッド・ケラー David Keller 氏 (フィデリティ・インベストメンツ、マネジング・ディレクター (調査担当))

フィデリティと言えば世界最大の投信運用会社で、ボトムアップのファンダメンタル分析を重視する運用会社というイメージがありますが、実は強力な専任のテクニカル・アナリスト・チームを擁し、ファンダメンタル分析だけでなく、テクニカル分析も駆使して運用にあたっています。同社がどのようにテクニカル分析も組み込んで、優れた運用を実現しているかが示されます。ケラー氏はまた、MTA (Market Technicians Association; 米国テクニカルアナリスト協会) (会員数: 約 4500 人) の会長を務めています。

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/170/>

<http://www.mta.org/eweb/dynamicpage.aspx?webcode=board-of-directors>

- ② デイビッド・ラングレン David Lundgren 氏 (ウエリントン・マネジメント、バイス・プレジデント)

ウエリントン・マネジメントも世界最大級の資産運用会社 (AUM: \$700 billion 超) のひとつです。日本の大手資産運用は大手の機関投資家は殆どがファンダメンタル分析のみに頼り、テクニカル分析を無視していますが、欧米では違います。欧米では、大手の資産運用会社が、それぞれのやり方でテクニカル分析も運用プロセスに組み込み、優れた運用を行っています。

その大きい模範のひとつだったのが、ジョージ・ソロス氏とジム・ロジャーズ氏が運用したクオンタム・ファンドでした。ファンダメンタル分析が得意なロジャーズ氏が投資対象を選定し、テクニカル分析が得意なソロス氏が最適なタイミングを見計らって売買執行を行った結果、驚異的な運用成績を上げ続けました。

欧米の資産運用会社は、それぞれ独自のやり方で、テクニカル分析を運用プロセスに組み込んでいます。ウエリントン・マネジメントは、フィデリティとは当然違ったやり方で、テクニカル分析を活用していると思われます。同社のバイス・プレジデントであるデイビッド・ラングレン氏が、同社のやり方を示します。

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/david-lundgren-cmt-cfa/>

③ ジャック・シュワッガー Jack D. Schwager 氏

ジャック・シュワッガー氏は、投資を極めた世界のトップ・トレーダー(「市場の魔術師」)らのインタビュー集(彼らがいかにして成功したのか、彼らの輝かしい成功の裏に隠された秘密等を記述したもの)で、ベスト・セラーとなった「マーケットの魔術師 Market Wizards」シリーズの著者です。

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/jack-schwager/>

④ リンダ・ラシュキ Linda Raschke 氏 (LBR アセット・マネジメント社長)

リンダ・ラシュキ氏は、上記のシュワッガー氏の著書にも登場する「市場の魔術師」のひとりです。バークレーズ・ヘッジが調査を続けた 4,500 のヘッジファンドの中、第 17 位という優れた成績(5 年間通算)を上げました。

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/linda-bradford-raschke-2/>

⑤ ハンク・プルーデン教授(博士) Hank Pruden, Ph.D (サンフランシスコ・ゴールデン・ゲート大学 (GGU) 教授、サンフランシスコ・テクニカルアナリスト協会会長)

日本ではテクニカル分析を正規科目として教えている大学は珍しいですが、海外では少なからず存在しています。(この背景には 2002 年に、経済学と認知科学を統合した「行動ファイナンス」理論及びプロスペクト理論で有名な米国の心理学者・行動経済学者であるダニエル・カーネマン氏がノーベル経済学者を受賞したことがあります。それまでは海外においても、市場の非合理性は実務家には認識されていたものの、学界ではそれを認知することに抵抗する勢力が根強くありました。ところが、カーネマン氏のノーベル賞受賞を転機に勢力が大きく変動しました。今日では、投資家は常に合理的な行動を取り、市場は効率的であると主張する勢力は少数派となっています。かくして、今では市場の非合理性は広く認知されるようになりましたが、行動ファイナンスの実践的手段として、テクニカル分析が広く認知されるようになりました。また、投資運用の分野においてグローバルに広く認知された最も権威のある資格である CFA 協会の CFA の学習要綱にも、テクニカル分析が含まれています。)

サンフランシスコにあるゴールデン・ゲート大学 (GGU) は、テクニカル分析を正規科目として教える大学のひとつです。ハンク・プルーデン教授(博士)は、同大学で 20 年以上も教鞭をとり続けてきました。

ハンク・プルーデン教授(博士)は学問を教えるだけでなく、自分自身、アクティブにトレーディングを行っています。

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/165/>

<http://www.ggu.edu/programs/finance/graduate-certificate-in-technical-market-analysis>

<http://www.tsaasf.org/>

<http://www.hankpruden.com/>

⑥ コンスタンス(コニー)・ブラウン Constance (Connie) Brown 氏 (エアロダイナミック・インベストメンツ創設者)

コンスタンス(コニー)・ブラウン氏は、北米では知る人ぞ知る CTA 業界を代表する伝説的トレーダーです。カナダを代表する水泳の選手で、世界選手権で金メダルを取ったこともありました。(代々木オリンピック・プールで行われた東京大会で獲得しました。)そのエネルギーを、トレーディング技法を極めることに捧げた結果、業界を代表するトレーダーになりました。日本では殆ど知られていないギャン理論を実践しています。(ギャンの技法は多岐にわたりますが、その真髓的な部分は日本では殆ど紹介されておらず、知られていません。)日本文化への造詣も深く、著書には「武士道」、「気」に関する記述があります。ギャン理論の真髓部分に触れたいトレーダーにはお奨めのセッションです。

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/constance-brown/>

⑦ ハワード・バンディ博士 Howard Bandy, Ph.D

ハワード・バンディ博士は、世界を代表するトレーディング・システムの設計者です。数学、物理、工学、コンピューター・サイエンス、モデル設計、人工知能、統計学の知識を駆使し、長年にわたり、トレーディング・システムの設計に携わってきました。以前は、科学的なテクニカル分析の書物と言えば、「Evidence-Based Technical Analysis」が代表的でしたが、今日では、バンディ博士の著書である「Quantitative Trading Systems」、「Modeling Trading System Performance」が主流となっています。強靱なトレーディング・システムを構築したいと思っているトレーダー、投資家にはお奨めのセッションです。

<http://conference.ifta.org/2013/speakers/howard-bandy/>